

次世代環境産業 シンポジウム



参加
無料

開催趣旨

限りある資源を効率良く利用し、持続ある成長を続けるためには、排出された廃棄物を単に処理する社会から、廃棄物の発生を極力抑え、環境に負荷を与えないように再資源化するなど、廃棄物を知恵や技術をもって資源に変換される社会を目指す必要があります。

こうした社会へと移行するには、あらゆる主体が「廃棄物」は「資源」ととらえ、共通の目標に向かい、「共創と連携」のもと、それぞれの役割を果たすことが重要です。

このため、今回、製造業者、廃棄物処理業者、大学等の関係者が一堂に会し、各々の立場で将来を見据えた資源循環について考え、連携・協働することで、地域の特長や資源を活用した地方創生にも資する資源循環型社会づくりが一層進むことを期待し、シンポジウムを開催します。

【第1部】シンポジウム

基調講演 「日本の資源循環の展望について」

講師：細田 衛士 氏（慶應義塾大学経済学部 教授）

プロフィール

細田衛士（ほそだえいじ）慶應義塾大学経済学部教授。同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。博士（経済学）。1994年より現職。2001年7月より2004年9月まで経済学部長。専門は環境経済学、理論経済学。著書に『グッズとバツズの経済学』、『環境と経済の文明史』、『資源の循環利用とは何か バツズをグッズに変える新しい経済システム』等多数。



【第2部】ワークショップ

2015年

日時

11月27日 金 13:00～17:30

会場

ボルファートとやま

〒930-0857 富山市奥田新町8-1 / TEL: 076-431-1113
<http://www.wohlfahrt-toyama.co.jp/>

定員

【第1部】200名 【第2部】50名

先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。

【第1部】シンポジウム

13:00~16:00 (於 真珠)

- 1 開会挨拶
- 2 基調講演

「日本の資源循環の展望について」

講師：細田 衛士 氏 (慶應義塾大学経済学部 教授)

- 3 先進事例紹介

- (1) (株)アイザック 専務取締役 石崎 大善 氏 (2) (株)富山環境整備 代表取締役 松浦 英樹 氏
 (3) ハリタ金属(株) 代表取締役 張田 真 氏 (4) 富山県立大学環境工学科 教授 川上 智規 氏

- 4 パネルディスカッション

テーマ「動脈経済と静脈経済の連動」

～資源循環ビジネスと資源効率性について～

・ファシリテーター：細田 衛士 氏

・パネリスト：①富山県立大学環境工学科 講師 立花 潤三 氏

②国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター
 循環型社会システム研究室 研究員 河井 紘輔 氏

③エコスタッフ・ジャパン(株) 代表取締役 田部 和生 氏

④ハリタ金属(株) 代表取締役 張田 真 氏

⑤環境問題懇談会 代表幹事 中越パルプ工業(株)

- 5 閉会挨拶

【第2部】ワークショップ

16:10~17:30 (於 めのう)

テーマ「産・学・官連携から生まれる資源循環」

◎ワークショップ終了後、希望者による意見交換会(有料)を開催します。

申し込み方法

郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法でお申し込みください。

申込先(問合せ先)

郵便 富山県環境政策課
 〒930-8501 富山県富山市新総曲輪 1-7
 TEL (076)444-9618

FAX (076)444-3480 Eメール jisedai@jeckc.com

申込期限

11月18日(水)

次世代環境産業シンポジウム

参加無料

次世代環境産業シンポジウム FAX用 申込用紙

FAX (076)444-3480

企業/団体名			
連絡先	電話番号		
	Eメールアドレス		
1	所属・役職	参加者名	ワークショップ (16:10~17:30)
			意見交換会 (18:00~19:30)
1			参加・不参加
2			参加・不参加
3			参加・不参加

※個人情報、本シンポジウム以外の目的では使用しません。